



地域包括・在宅介護支援センター

健康教室のご報告



11月の健康教室は「ヘルパーさんが伝える介護のコツ パート6」とのテーマで秋津ヘルパーステーション 介護福祉士 森岡 弘美ヘルパーを講師に、ヤマシタコーポレーション 榎木氏にご協力頂き、御所市図書館 視聴覚室で開催しました。

まず、榎木氏より最新式の特殊寝台・附属品について説明がありました。ご参加頂いた皆さんの半分は布団で寝ているとの事でしたが、最新式の特殊寝台はかなり低床になり、布団からベット利用への抵抗感や転落時の怪我也軽減出来るなどの説明がありました。更に詳しく、モーター別機能や背上げ、足上げ、高さの調節で本人の身体の状態や介護状況に合わせて調節できる効果などの説明があり、レンタル利用のメリットとして、身体状態に適した福祉用具が選べ、状態の変化に応じ変更でき、故障時の対応がしやすい。また、購入する場合の金額（20万～30万円程度）とレンタル料（毎月600円～1000円程度）の違いなども紹介して頂きました。続いて森岡ヘルパーから、特殊寝台を使用してギャップアップ（背上げ）をし、介護される人の背中やお腹にかかる窮屈感の解消の仕方やベットから椅子への移乗介助の方法を伝えさせて頂きました。その際の注意点として、「介護される人の動きを邪魔せず介助をする事が本人の持っている力を活かし、介護負担の軽減になる」など、実演を交えて伝えさせて頂きました。その他、褥瘡を予防するエアーマットの構造、ベット上での移動ができるスライディングシート、ベットから椅子等に簡単に移乗できるスライディングボード、自走式、介助式、リクライニング等の車いすや歩行器、手すり等の説明があり、実際に皆さんに体験していただきました。

最後に、色んな福祉用具や介護方法を知ることで、介護される側も介護する側も安楽になることを体験して頂きましたが、今回の「ヘルパーさんが伝える介護のコツ」で学んだことを参加者の皆さんを通じて、近隣や友人の役に立ててほしいと伝えさせて頂きました。

在宅介護支援センター 中尾 幸子

